

実証実験のためのIdP構築

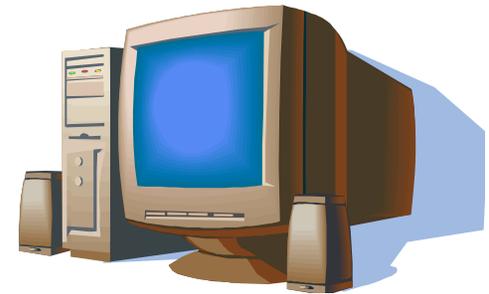
東北大学における事例紹介

東北大学 情報部 情報推進課
安西 従道

ハードウェア構成

- HP ProLiant ML110 G5

CPU : Xeon X3210 2.13GHz
Memory : 2GB
HDD : SATA 3.5 250GB
CD or DVD : SATA DVD RW



ソフトウェア構成

- OS : CentOS 5.1 x86_64
- Java SE Development Kit (JDK) 6u7 (1.6)
- openssl 0.9.8b
- openLDAP 2.3.27
- Apache 2.2.3
- Apache ant 1.6.5
- Tomcat 6.0.18
- Shibboleth-idp-2.0.0



IdP構築作業概略

- 「IdP構築・運用手順書ver1.0」に従って作業。
- UPKI「サーバ証明書発行・導入における啓発・評価プロジェクト」よりサーバ証明書を取得。
- LDAPデータとして、導入予定の「統合電子認証システム」で使用する形式に近いものを、テスト環境として作成。

IdP構築作業時のトラブル対応

- Tomcat、shibbolethをdebugモードで起動し、情報収集。
- Tomcat 環境変数の修正。(手順書ver1.2では対応済み)
- Metadata更新の行違い。
- shibboleth-idp-2.0.0/credentials に置いた秘密鍵の ファイルから、パスフレーズを削除。

ヘルプデスク・実証実験支援チームにメールにて対応して頂きました。

この場をお借りしてお礼申し上げます。

運用状況

利用は東北大学内からのみ許可。

Metadataの更新。

→ 10月30日より

Metadataの自動更新実験を実施中。

